

「えらぶ年寄り組」は、「令和2年度(補正予算)国立・国定公園への誘客の推進事業費」の交付を受けて下記の事業を実施しました。

事業名は「屋久島国立公園口永良部島における動植物保全推進活動の成果を活用したサステイナブル・エコツアーによる離島再活性化」です。

島民の皆さんとも関係する事業でしたので、実施結果をご報告します。

島の観光情報発信

◆新たなホームページ

「口永良部島観光サイト」を立ち上げ、観光客向けに島の情報を発信しました。

◆LINEを活用した口永良部島の観光情報のSNS発信ができるように依頼しました。

◆エラブオオコウモリ「観察ガイド」小冊子や、「里めぐり」リーフレットを作成 島の魅力を発信しました。

◆ビデオ映像を9テーマ作成しました。

- ・ホームページや観光案内所で視聴できます。
- ・ビデオ撮影のために4Kビデオ撮影機を購入しました。
今後も島民が自由に使えます。

観光案内のための環境整備

◆観光案内所を充実しました。

- ・観光案内所の場所が、フェリー下船者に分かるように、「のぼり幡」を作りました。
- ・案内所内に、タッチパネル型タブレット(小型パソコン)を置きました。
フェリーから降りた観光客が、民宿や、お店、郵便局、温泉などの場所を探せます。
島の名所案内のビデオ映像を視聴できます。
火山情報や注意情報を入手できます。
- ・展示ケースを置き、土産物を展示・販売できるようにしました。
- ・丸椅子、ストーブ、湯沸かし器などを、観光客の接待用に購入しました。
- ・コロナ対策に、非接触型体温計やアルコールスプレー、マスクなどを購入しました。

◆カンバン

- ・集落の史跡には、由来を記した看板を立てました。
新村集落跡1、本村集落17、前田集落1、湯向集落1カ所

◆ベンチを置きました。

- ・本村集落5、湯向集落1台

◆口永良部島歴史資料館

- ・金岳小・中学校にお願いして、
展示物が取り出せるように前開きの「展示ケース」を置かせてもらいました。
観光客用の非接触型体温計とアルコールスプレーを用意しました。
(コロナ禍が終息するまで、歴史資料館には観光客は案内しません)

◆ツアー事務局の整備

- ・ホームページの管理や問合せ対応ができるようツアー事務局機能を強化しました。
パソコン、複合型レーザープリンター(白黒)などの購入
- ・役割は、問い合わせがあれば、民宿やガイドに連絡する窓口役です。
- ・島の「観光協会？」にボタンタッチするまで、「えらぶ年寄り組」が事務局役を担います。

教材や案内資料の作成

◆学習・キャンプツアー(修学旅行)を誘致できるよう教材を整えました。

- ・児童・生徒・学生対象に、修学旅行(学習キャンプツアー)など誘致の準備
- ・教材をつくりました。
- ・教材や案内用材の作成のためにラミネーターを購入しました。
(どなたもが使ってもらえます)

◆ガイド希望者のために、

- ・邦文と英文のガイド台本を作りました。観光ガイドブックとしても利用できます。

ZOOM 研修・講演会を開催

◆ZOOM 研修・講演会を4回開きました。

- ・「観光客を誘致するにはどうすれば良いか」が基本テーマでした。
- ・延べ参加者、公民館39名、ZOOM参加26名

◆コロナ対策のZOOM 研修・講演会を開きました。

- ・昼、夜2回、公民館と、ZOOMでの参加を合わせると合計36名の参加がありました。島民3分の1です。

◆ZOOM 研修・講演会のために、液晶プロジェクターと大型スクリーンを購入しました。

- ・今後は、公民館で活用してもらえます。

ツアーを募集中

◆ホームページで、「島めぐりツアー」を募集しています。

- ・ホームページで宣伝する統一した名称を「島めぐりツアー」としました。
- ・島民ガイド各人が、ツアー募集して案内する形式です。ガイド希望者は、ホームページにツアー募集を掲載できます。(独自ホームページにリンクも可)
- ・掲載すれば、ツアー会社から直接交渉があります。
- ・窓口は、「ツアー事務局」が担い、しばらくは「えらぶ年寄り組」が引き受けます。「えらぶ年寄り組」もガイドの一員です。

◆ツアー会社からの申し込み

- ・「(株)西遊旅行」からツアー申込みがありました。どなたかガイドお願いできますか?
- ・10/29(金)、11/5(金)、11/13(土)に、一泊二日で来島予定です。
- ・民宿は、「(株)西遊旅行」が探したようです。

◆3密をさけるために

- ・ガイド用に、ワイヤレス・ガイドシステムを購入しました。(ガイドするときに使ってもらえます)

◆エラブオオコウモリ観察会のために

- ・暗視カメラや暗視撮影機を購入し、コウモリを驚かせないで案内できるようにしました。

修学旅行を勧誘

◆修学旅行などは、ホームページでは「学習・キャンプツアー」と名付けました。

- ・修学旅行や研修旅行先に、口永良部島を選んでもらうように呼び掛けています。

◆鹿児島県内81校の高校と環境コースのある全国20数校の高校に呼びかけの手紙とアンケートを送りました。九州地区などの旅行社20社に手紙とアンケートを送りました。

協力していただいた島民の皆さんに感謝します

デザインや製作作業をお願いした方々は15名(年寄り組4名を含め島民12名、元島民2名、広大生1名と屋久島在住者3名*)、他に取材協力4名、資料提供2名など21名の方々に協力していただきました。それぞれの方々に賃金・謝金を支払いました。その他にも、多くの方々にボランティアで支援していただきました。心よりお礼申し上げます。

*<修学旅行を共同で受け入れる屋久島ヤクタネゴヨウ調査隊メンバー>

コロナ補助金ではありませんが

環境省の別事業で、

- ①エラブオオコウモリのアンケートを実施しました。お陰様で回収率100%近くでした。
- ②コウモリ観察ガイドのリーフレットを作成し、島民の皆様に配布しました。
- ③コウモリのカンバンを5枚追加しました。昨年度と合わせ、16枚になりました。